



▲ロンドン五輪で日本代表選手団が着用するジャケット。赤は公式行事用で、グレーは渡航用

◀取材した7月12日は、着合わせ後の直し作業の真っ最中。渡航用は伸縮性に富んだニット素材を採用しており、寸法通り仕上げには高い技術が要求される

“どんな仕事でも引き受けられる” それがうちの強み

「有限会社エスポワール」

ロンドン五輪で、日本代表の公式ウェアを手がける

7月27日に開幕したロンドン五輪。その開会式で日本代表選手らが着用した日の丸を意識した赤のジャケット。加えて選手らが大会に向けてロンドン入りした移動の際に着用していたグレーのジャケットの2種類の裁縫を手がけたのが、七百地区にある有限会社エスポワール（蹴揚敏美社長）だ。

エスポワールは昭和63年に創業し、現在の従業員は35人。今回のロンドン大会だけでなく、過去にはアテネ大会やバンクーバー冬季大会でも公式ウェアの裁縫を引き受けた実績もある。主要な取引先は関東圏で、通常はホテルの制服などを手がけて

いるが、その高い技術力を買われ、人気シリーズ「踊る大捜査線」の衣装や木村拓哉さん主演で話題となった「SPACE BATTLESHIP ヤマト」の映画衣装、紅白歌合戦の舞台衣装を依頼されるなど業界では名の知れた存在なのだという。

これだけの実績がありながら、今まで町の中で話題にならなかったのが不思議なところだが、蹴揚社長は「目立たないように、ひっそりやってきたんだよ。会社の看板も外に掲げてないしね」と冗談めかして笑う。「うちは小さな工場だから生産性では大工場とは競合できない。量をこなすのではなく、面倒で手間のかかる仕事を中心に、依頼先の多様な要望に応えられるようやってきた」と言う。地方にありながらも業界の第一線で仕事ができる秘訣は『どんな仕事でも引き受けられる』こと。

高い技術力があるからこそ、顧客のさまざまな要望に対し柔軟な対応ができる。今回の公式ウェアの裁縫もその一つだ。

「おかげで業界では『エスポワールにまかせておけば大丈夫』と言われるまでになった」と誇らしげな蹴揚社長。「うちがなくなったら、メーカーさんは困るだろうねえ」と笑っていたが、これまでの実績を伺えば、その言葉にも納得がいくというもの。こんな優れた技術を持ち、業界からも評価されている企業が六戸町にあることを誇らしく思える。

日本の伝統芸能に親しむ 7月18日



町内の中学生を対象に日本伝統芸能寄席鑑賞会が文化ホールで行われました。寄席では落語や大神楽、講談といった演目が上演され、中学生からは伝統芸能の素晴らしさを体験しました。

わが家のたから

—ひばりヶ丘住宅—



あいらちゃん (7歳)
長嶺愛里
ひろとくん (8ヶ月)
潤音
父 正敏さん 母 久美子さん

アイリ、いつもお手伝いありがとう。ヒロト、いつも元気なイタズラおつかれ様。これからも2人仲良く、ずっと笑っていてね。(ト・ママより)



献血のお知らせ

いつもたくさんのご協力ありがとうございます！

実施日	実施時間	受付場所
9月4日(※)	午後1時30分～3時30分	おいらせ農協六戸支店
持ちもの	献血カードまたは本人確認書類 (運転免許証、保険証など)	

閻町民福祉課 ☎55-3111 (内線132)